

カルガモ Spot-billed Duck

丸の内のビル街で繁殖し、一躍有名になったカルガモくん。交通整理のお巡りさんに守られて悠々と道路を横断。本当に優雅なカルガモくん。

英名は、“Spot-billed Duck”（スポットビルド・ダック）、即ち“くちばしにスポットのあるカモ”という意味です。なるほど、カルガモの識別のポイントは、正にそのくちばしにあります。黒いくちばしの先端に明瞭な黄色の部分、スポットがあります。特にメスの識別には、この黄色のスポットがかなり有効です。

カルガモは留鳥であり、ほとんどの探鳥会で比較的簡単に見られます。今度チャンスがあったら、スコープにカルガモをとらえて、とっくりと見てください。よく見れば、黄色のスポットの最先端に、更にほんの少しの黒い点が見えます。一般的には、黄色のスポットまでを観察すれば十分でしょうが、スコープの威力でこのような普通では気がつかない微小な点まで観察することができます。

和名のカルガモには、漢字で「軽鴨」を当てていますが、本当に軽いのでしょうか。また、学名の *Anas poecilorhyncha*※は、鳥類学名辞典によれば、“斑点のあるくちばしをした鴨”とあり、やはり Spot-billed の英名と一致しています。

では、これからはカルガモを見るたびにくちばしの先端の黄色のスポットを確認して、“Spot-billed Duck”を覚えましょう。

大宮のハクトウワシ

『しらこぼと』No. 103、1992年12月号より

※ 日本鳥類目録第7版では、*Anas zonorhyncha*